

2024 年度決算

現在、本学は、2032 年以降を見据えた 2050 年のあるべき姿として「Waseda Vision 150 and Beyond」を掲げ、「世界人類に貢献する大学」の実現を目指しています。現在、中長期計画「Waseda Vision 150」の STAGE3（2023～2027 年度）が進行中で、これら施策の検証と改善を可能とする財政的基盤を確保し、不断の改革を実行しています。

<財務目標>

- ・2015 年度以降、経常収支差額 50 億円以上の確保と、このうち「一般財源での経常収支差額」20 億円以上の確保を目標としています。この目標は、施設設備を維持する財源を確保し、安定的な財務基盤を構築するため、毎年度継続的に確保する必要がある額として設定したものです。
- ・2024 年度は、経常収支差額は 51 億円となり、目標としていた 50 億円を達成しましたが、「一般財源での経常収支差額」は 15 億円で、目標の 20 億円には及びませんでした。

1. 事業活動収支計算書

収入面では、最も大きな構成比を占める学生生徒等納付金が、2024 年度に実施した学費改定および学生数の増加等により、前年度比 14 億円増の 677 億円となりました。加えて、受託事業の堅調な拡大に伴い、付随事業収入も 9 億円の増収となりました。一方、前年度に大口寄付および大型補助金が計上された影響により、寄付金は前年度比 11 億円減、経常費等補助金は同 8 億円減と、それぞれ大幅な減収となりました。これらを踏まえた教育活動収入計は前年度比 11 億円増の 1,050 億円となりました。

支出面では、人件費が、大学年金追加拠出金負担軽減（前年度比 8.5 億円減）による抑制があったものの、ベースアップの実施および退職給与引当金繰入額増等により、前年度比 5 億円増加し、496 億円となりました。また、教育研究経費は、建物解体等の工事に伴う修繕費の増加（同 14 億円増）および受託事業収入の増加に伴う関連支出増等により、前年度比 23 億円増の 494 億円となりました。管理経費も前年度比 1 億円増の 45 億円となりま

事業活動収支計算書

2024(令和 6)年 4月 1日から

2025(令和 7)年 3月31日まで

(単位 百万円)

科 目		本年度	前年度	増 減
教育活動収支	収入			
	学生生徒等納付金	67,696	66,286	1,410
	手数料	3,787	3,608	179
	寄付金	3,296	4,361	△ 1,065
	経常費等補助金	12,466	13,232	△ 766
	付随事業収入	12,007	11,122	885
	雑収入	5,784	5,324	460
	教育活動収入計	105,036	103,933	1,103
	支出			
	人件費	49,627	49,134	493
教育研究経費	49,374	47,089	2,285	
管理経費	4,466	4,353	113	
徴収不能額等	40	27	13	
教育活動支出計	103,508	100,603	2,905	
教育活動収支差額	1,528	3,330	△ 1,802	
教育活動外収支	収入			
	受取利息・配当金	3,170	4,027	△ 857
	その他の教育活動外収入	1,255	1,286	△ 31
	教育活動外収入計	4,425	5,313	△ 888
	支出			
借入金等利息	13	20	△ 7	
その他の教育活動外支出	823	848	△ 25	
教育活動外支出計	836	868	△ 32	
教育活動外収支差額	3,588	4,445	△ 857	
経常収支差額		5,116	7,775	△ 2,659
特別収支	収入			
	資産売却差額	3	2	1
	その他の特別収入	897	758	139
	特別収入計	900	761	139
	支出			
資産処分差額	225	22	203	
その他の特別支出	6	11	△ 5	
特別支出計	231	33	198	
特別収支差額	669	728	△ 59	
基本金組入前当年度収支差額		5,785	8,503	△ 2,718

した。

以上の結果、教育活動収支差額は前年度比18億円減の15億円となりました。

教育活動外収支は、前年度に運用商品の売却益を計上した影響により、受取利息・配当金が前年度比9億円減の32億円となり、教育活動外収支差額も同様に9億円減の36億円となりました。

これらを総合した経常収支差額は、前年度比27億円減の51億円となりました。

特別収支は、施設設備に係る寄付金および補助金等の臨時的な収支を計上し、特別収支差額は前年度比1億円減の7億円となりました。

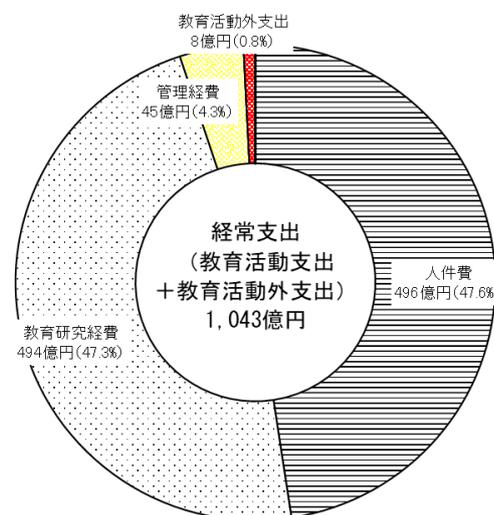
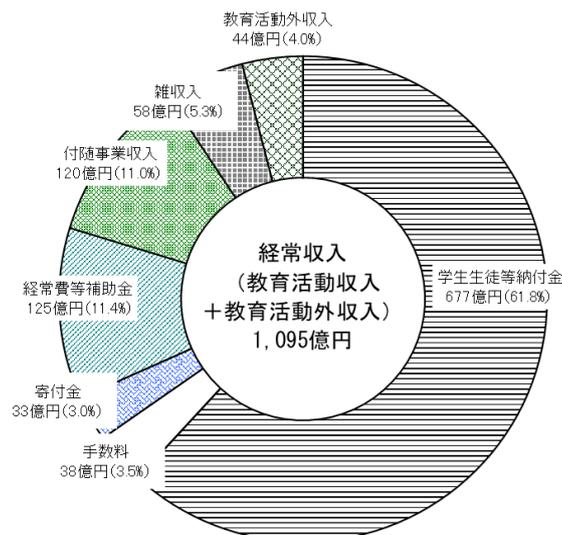
以上により、基本金組入前当年度収支差額は前年度比27億円減の58億円となりました。

2. 貸借対照表

2024年度末の資産の部合計は4,205億円で、その内訳は、固定資産3,835億円、流動資産370億円でした。このうち、運用資産残高（現金預金、有価証券、特定資産の合計額）は1,609億円で、前年度末から61億円増加しました。

一方、負債の部合計は583億円で、その内訳は、固定負債327億円、流動負債255億円でした。このうち、借入金残高（長期借入金、短期借入金の合計額）は58億円で、前年度末から31億円増加しました。

また、基本金は4,358億円、繰越収支差額は△736億円となり、純資産の部合計は3,622億円、前年度末から58億円増加しました。



貸借対照表

2025(令和7)年3月31日

(単位 百万円)

科目		本年度末	前年度末	増減
資産	固定資産	383,529	376,663	6,866
	有形固定資産	237,104	233,660	3,444
	特定資産	58,254	57,162	1,092
	その他の固定資産	88,171	85,840	2,331
	流動資産	37,003	35,766	1,237
資産の部合計		420,532	412,429	8,103
負債	固定負債	32,747	29,586	3,161
	流動負債	25,545	26,387	△842
負債の部合計		58,292	55,974	2,318
純資産	基本金	435,798	430,517	5,281
	繰越収支差額	△73,558	△74,062	504
純資産の部合計		362,240	356,455	5,785
負債及び純資産の部合計		420,532	412,429	8,103